

## セキュアブレイン

### 「gredセキュリティサービス」を「Web改ざんチェックサービス」としてBIGLOBEに提供

セキュアブレインは、BIGLOBEと販売代理店契約を結び、同社がWebホスティングサービスのオプションサービスとして、セキュアブレインの企業向けSaaS型セキュリティソリューション「gredセキュリティサービス」を採用し、「Web改ざんチェックサービス」として販売を開始したことを発表した。

Gumblar攻撃等によるWebサイトの改ざん被害は、企業にとって深刻な問題である。セキュアブレインが運営する無料のWebセキュリティサービス「gredでチェック」の検知結果では、1月に検知されたGumblar被害サイトの80%は、法人系のWebサイトだった。改ざんされたWebサイトを顧客が閲覧した場合、ウイルス感染により、個人情報漏えい等の被害を及ぼし、その会社のブランドイメージの著しい低下に繋がる。これらのWebサイトの改ざんは、正規のFTPのIDやパスワードを使いアクセスを行うため、Webサーバに脆弱性等の問題が無くても改ざんが可能になるため、未然に防ぐことが困難だ。

セキュアブレインのgredセキュリティサービスは、Webサイトの不正な改ざんの有無を定期的に確認するSaaS型セキュリティソリューションである。不正な改ざんを検知すると、管理者にアラートメールの配信と詳細レポートの提供を行う。本サービスは、Webサイトのコンテンツやリンク先等複数の要素を解析するので、Gumblarのように、従来の対策では検知が難しいWebサイトの改ざんも検知が可能だ。

セキュアブレインは、サービスプロバイダ向け特別プランとして、gredセキュリティサービスの各種機能をカスタマイズして提供している。今回のBIGLOBEへの提供は、ファーストサーバに続き2社目である。

セキュアブレイン TEL：03-3234-3001

## 日本オラクル

### バイエル薬品が「Oracle Exadata」を採用 ～コスト削減とパフォーマンスの改善を目指す～

日本オラクルは、バイエル薬品が、「Oracle Exadata Version 2」を採用したことを発表した。

バイエル薬品は、医薬品・医療機器・動物用医薬品の開発、輸入、製造、販売を主な事業とする企業である。同社は、病院・調剤薬局・医療施設における医薬品の納入実績などの集計処理をさらに効率化するために、Oracle Exadata Version 2の採用を決定した。バイエル薬品は、Oracle Exadata Version 2の採用により、重要情報のバッチプロセスなど高速処理が求められるオンラインランザクション処理（OLTP）とDWH処理を統合して、コスト削減とパフォーマンスの改善を目指していく。

Oracle Exadata Version 2は、オラクルとサン・マイクロシステムズが開発した世界最速のDWHおよびOLTPマシンである。業界標準のハードウェアコンポーネントとサンのFlashFire技術、「Oracle Database 11g Release 2」、「Oracle Exadata Storage Server Software Release 11.2」を採用し構成されたOracle Exadata Version 2は、DWH向けVersion 1の2倍の速度を実現した。また、サンのFlashFire技術に基づいた「Exadata Smart Flash Cache」を採用することで、OLTPにおいて高速な性能と拡張性を実現した。これにより、オラクルの顧客はデータ保存量を10倍以上拡大し、アプリケーション変更を行わずにデータ検索速度を10倍以上高速化することが可能となった。現在、次の4つの構成が提供されている。フルラック（8台のデータベースサーバと14台のストレージサーバ）、ハーフラック（4台のデータベースサーバと7台のストレージサーバ）、クォーターラック（2台のデータベースサーバと3台のストレージサーバ）、ベーシックシステム（1台のデータベースサーバと1台のストレージサーバ）。

日本オラクル TEL：03-6834-4836